

物理関係の記念特別講演

Atiyah, Thom 両氏の講演につづいて、共立女子学園講堂においては、10月9日午後から11日午前まで、つぎのような8つの講演が行なわれた。

10月9日

2:00 p. m.—4:15 p. m.

The Theory of Nuclear Matter

.....Prof. H. A. Bethe (USA)

SolitonsProf. T. D. Lee (USA)

10月10日

9:30 a. m.—11:45 a. m.

The Role of Semiconductor Physics in Device

DevelopmentDr. L. Esaki (Japan)

The Cohesive Properties of Transition Metals

..... Prof. J. Friedel (France)

1:30 p. m.—3:45 p. m.

The Changing Perspectives of Cosmic Ray

ResearchDr. M. G. K. Menon (India)

The Experimental Basis for the New Quark

SpectroscopyProf. W. K. H. Panofsky (USA)

10月11日

9:30 a. m.—11:45 a. m.

Waves on Wings ...Prof. K. Oswatitsch (Austria)

Search for Gravitational Waves

..... Prof. E. Amaldi (Italy)

なお、つぎの二人の分は、都合によって取りやめになった：A. Salam (Pakistan), E. M. Lifshitz (USSR).

感 謝 状

望月 誠 一 殿

貴殿は昭和九年十月八日に日本数学物理学会職員として採用されてから同学会が日本数学会と日本物理学会とに分離するに至るまで多年にわたり誠心誠意をもって職務に励みよくその責務を全うされました。

ここに日本数学会および日本物理学会は創立百年を記念するに当って記念品を贈呈し深く感謝の意を表します。

昭和五十二年十月八日

社団法人 日本数学会

理事長 木村 俊 房

社団法人 日本物理学会

会 長 宮 原 将 平

望月誠一氏は感謝状の通り、昭和9年以来両学会分離まで‘数物’に、それから定年まで日本物理学会におられた。誠実一途の方で、学会が氏のためだけに恩恵を受けたかわからない。大正2年6月12日生、哲学専攻。現在日本分光学会事務局長。感謝状は10月8日夜のパーティーの際贈呈された。